

148. 5mm



1

2



3

4

5

1.テグスに引っかかったフクロウ / 2.ブドウの木で抱卵中の鳩。近くで作業しても逃げません。 / 3.シカやイノシシが侵入できないように張り巡らせたワイヤーメッシュ / 4.カワラヒワの手のひらサイズの巣と卵。近くで作業するとどこかに行ってしまう。 / 5.箱ワナにかかった子たぬきは逃がしました。

畑の中のいきものたち

今年もカノハタの畑にはいろいろな生き物が訪れています。作物に影響のない生き物には私たちも何もするつもりはありませんが、くだものを食べる鳥や獣に対しては、容赦しません。中に入らないように柵をしたり、罠を仕掛けたり、テグスを張って嫌がらせをしたり。

カラスよけのためのテグスをブドウの畑に張った数日後のこと。なんとフクロウがテグスに引っ掛かりぶら下がっていました。夜に鳴き声を聴くことはあっても、野生のフクロウを間近かで見るのは初めてです。しかも明るい昼間に！「何か御用？」とでも言いたげに顔をこちらに向けていますが、きっと暗い時間にネズミでも捕ろうと地面近くに降りてきてかかってしまったのでしょう。ずいぶん長い時間苦闘していたのだと思います。テグスを切ったら隣の耕作放棄地に飛んでいきました。ブドウ棚には鳩とカワラヒワが抱卵していました。ヒナがかえるのを楽しみに、しばらく観察していましたが、鳩は2週間近く経ち、そろそろかなと思うころに、何者かに襲われたようです。空っぽの巣と下には鳩の羽が落ちていました。カワラヒワもいつの間にか巣が下に落ちていました。一見、人工的な畑の中ですが、野生動物の厳しい営みが見える時があります。

148. 5mm



ピザ窯作りました！

それはGW前のこと。「あのさ〜、庭にピザ窯作りたいて、帰り道でこうたくん（小学校のお友達）と話してたんだよね。」と長男。そんな簡単に作れるはずはないと思いつつも「ピザ窯 簡単 手作り」で検索すると、耐火レンガをただ並べるだけの窯を発見！作ったきりほとんど遊ぶことのない砂場に置くことにしました。作業を始めたらものの1時間で完成。すぐさま薪を入れて点火！意外と美味しく焼けました。鶏やマシマロも焼けます。飽きたらBBQコンロに組替える予定。形が自在でおすすです〜♪



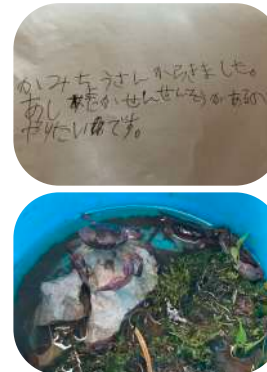
農繁期の助っ人

今年の農繁期の強力な助っ人は〜ジャージャーン！カンボジア人のポウくんです。8人兄弟の末っ子で、特定技能実習生として派遣会社からやってきました。果樹は初めてですが、とても仕事のセンスが良く、気も利きます。複雑にスパイスを効かせた料理は絶品で、食材の使い方も斬新です。ドクダミの葉をそうめんの薬味にしたり、ちょっと色づいた青い桃を青パイアの代用にしたり。カンボジアでは男女を問わず、作る時間のある人が家族の料理を作るとのこと。男子3人の寮生活でも充実した食生活を送っています。



河川清掃したいです！

ママ！さっかみちようさんが来てね、明日河川清掃だって！ぼくもやる！と張り切って次男から渡された手紙には「かみちようさんからきました。あしたかせんせんそうがあるのでやりたいです。」組長さんが来て、明日の河川清掃よろしくお願ひしますと言っていたのだと思いますが、文末にはなぜか自分の願望が。思わず笑ってしまいます。約束通り翌日は家の周りの水路の草や泥さらいのお手伝いを一生懸命してくれて、お目当てだったカニを、たくさん見つけられました。



ブドウに屋根をかけました

くだものの天敵は病気と害虫です。ブドウはとくに、一房のなかで粒どうしが密着しているので風通しが悪く、湿度の高い日本では、病気にかかりやすいです。しかし、葉や房を雨に直接当てないことで、病気の発生を格段におさえることができます。そこで、畑のほんの一部ではありますが、冬の農閑期にビニールの屋根をかけました。簡易雨よけと言って、本当に房の上だけにかける簡易なものです。これで病気が防げれば！ちなみに雨の日の作業では人もぬれにくくなり、ちょっと快適です。



210mm